

CWA NEWS



会長あいさつ



千葉ウィスコンシン協会
会長 茂木 友三郎

平成30年最初のCWA NEWSの発刊に当たりご挨拶申し上げます。

日頃より千葉ウィスコンシン協会の交流事業等に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、千葉県とウィスコンシン州が姉妹県州の提携をしてから28年目、当協会が千葉県側の交流窓口となってから14年目に当たります。

この間、関係各位のご尽力により、幅広い分野で、地域に根ざした民間レベルの活発な交流が展開されました。そして、その成果として、市民レベルでの交流の輪が着実に広がるとともに深まってきております。

昨年は、10月に文化・芸術、教育の2つのグループで総勢9名の千葉県友好使節団が、ウィスコンシン州を訪問しました。

文化・芸術グループは、学校を中心に公演活動を行い、多くの方と交流を深めたほか、教育グループは、大学などを訪問し、有意義な意見交換を行いました。また、ホストファミリーの皆様からも心のこもったおもてなしを受け、ウィスコンシン州の皆様にも深く感謝申し上げます。参加された使節団員の方々には、一生の思い出に残る訪問になったのではないかと思います。

本年は、ウィスコンシン州から友好使節団を受け入れる年になっておりますが、千葉県のすばらしさを紹介し、友情と交流をさらに深めていただくことを心より期待しております。

結びに、当協会の交流事業等につきまして、今後とも当協会の役員、会員をはじめとする皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

ウィスコンシン州の文化と歴史 (パート2)



Donald McNurlan (CWA 会員)

*和訳はお嬢様の McNurlan 晶子さんにお願いました。

Similarities exist between the religious beliefs of Wisconsin and American Indian tribes and Japan's native religion Shintoism. American Indian tribes believe that spirits exist in natural objects and animals similar to the "kami" that exists in Shintoism. The Winnebago and other tribes were noted for the building effigy burial mounds in southern Wisconsin between 500 and 1000 AD. These distinctive mounds were in the shapes of recognizable as birds, animals such as bear or deer, spirit animals, or people. It's interesting that during the same period, the "Kofun" burial mounds in Japan were also being built. Two of the best preserved burials are located near Fond du Lac: Lizard Mound County Park and High Cliff Park.

Between 1634 and 1740's the French conducted major expeditions of the Great Lakes region including Wisconsin and many place names in Wisconsin are based on the French words or the names of French explorers or Jesuit missionaries. Following the French, between 1850 and 1900 large numbers of European immigrants followed them, Germans and Scandinavians (the largest group being Norwegian) Irish and later large numbers of Polish immigrants. These immigrants tended to settle in certain regions of Wisconsin,



Lizard Mound County Park, West Bend, Wisconsin

for example many Germany immigrants settled in southeastern Wisconsin and Polish immigrants in central Wisconsin. Consequently, you'll find many place names in Wisconsin derived from German, Scandinavian, and Polish languages. The majority were German immigrants who settled in Wisconsin because of similarities between Germany's and Wisconsin's climate.

Wisconsin : America's Dairyland

The German and other immigrants built family farms and raised dairy cows to produce the milk used to create butterfat and raw ingredients to produce cheese. As a result, in 1913 Wisconsin became the largest producer of butterfat and cheese and continues to be today. In 1939, the state adopted the slogan "America's Dairyland" for the state's license plate and supporters of the Wisconsin's NFL Green Bay Packers came to be called "cheesheads." By the way, the Green Bay Packers are the only major professional team that is publicly owned. In fact, I have a few shares and so could be considered an NFL owner.

Greatest German Beer in America

Not only did the German and other European immigrants produce milk and cheese, but established local beer breweries (much like the Japanese jizake breweries). Before the 1980's, there were considerable number of local beer brewers (today they called "micro-brewery). Wisconsin German brew masters helped establish Milwaukee as the beer capital of the world. There are some very well-known family breweries still operating such as the Leinenkugel Brewing Company in Chippewa Falls and Stevens Point Brewery in Stevens Point which has won first place in several international beer tasting contests. My favorite "Christmas" was produced by the small German brewery Lithia in West Bend, Wisconsin.

ウィスコンシンやアメリカンインディアンと「日本の神道」の間には共通の宗教的信仰がある。アメリカンインディアンは、神道でいう「神」の考え方や同様、自然物や動物に魂が宿っているという考えを持っている。ウイネベゴ族や他の民族は6世紀～11世紀の間にウィスコンシン州南部にさまざまな形をかたどった古墳を作ったことで知られている。

このユニークな古墳には鳥や熊、鹿、更には象徴動物や人をかたどったものがある。興味深いのは、なんと同時期に日本で前方後円墳をはじめとする古墳が作られているのだ。保存状態が特に良い2つはリザード・マウンド郡立公園とハイ・クリフ州立公園はフォンデュラクシティーの近くに位置している。

1634年から1740年代の間にはフランスによって、最も盛んに五大湖を含むウィスコンシン州の探検が行われた。このこともあって、ウィスコンシン州の地名はフランスの言葉やフランス探検家の名前やイエズス会の宣教師の名前からきているものが多い。フランスに続いて、1850年から1900年にかけて、ドイツ人、スカンジナビア人、アイルランド人、ポーランド人も移住してきた。彼らはウィスコンシン州の特定の場所を好んで住み着いた。例えば、ドイツ人は東南部に、ポーランド人は中央部に居住した。その結果、ドイツ語、スカンジナビア語、ポーランド語の地名も多く存在する。移民のメジャーはドイツ人である。なぜなら、ドイツとウィスコンシン州の気候が似ているからである。

[アメリカの酪農地帯]

ドイツ人をはじめとする移民は、家族経営酪農でバターや乳製品を生産するために乳牛を飼育した。その結果、1913年にはウィスコンシン州は今日に至るまでアメリカでの乳製品生産量がトップである。1939年に州は「アメリカの酪農地帯」のスローガンを立て、それが車のナンバープレートにも記載されている。それ故、ウィスコンシン州のナショナル・フットボール・リーグ (NFL) のグリーン・ベイ・パッカーズのファンは『チーズヘッズ』と呼ばれたりしている。ところで、グリーン・ベイ・パッカーズはアメリカで唯一の市民オーナー制のチームである。実は私自身も株をもっているので、NFLのオーナーであるともいえる。



[アメリカの一番美味しいドイツビール]

ドイツや他のヨーロッパ移民は牛乳やチーズ製品の生産だけでなく、ローカルビール醸造所(日本でいう地酒醸造所)も開業した。1980年代以前はかなりの数のローカルビール醸造所が存在していた。ドイツ系移民のビールマイスターはミルウォーキーシティーを世界で有数のビール都市に育て上げた。チッペワ・フォールズにあるライニクゲル醸造所やステープン・ポイントにあるステープン・ポイント醸造所は現在でも家族経営の醸造所としてよく知られている。私のおすすめはウエストバンドにあるドイツ醸造所リチアの「クリスマス」である。



ウィスコンシン州への千葉県友好使節団派遣報告

平成29年度の千葉県友好使節団は、文化・芸術グループが木更津市から歌舞伎舞踊の伎音戯座（わざおぎざ）の2名、教育グループが千葉大学大学院看護学研究科の3名の先生方、そしてCWA事務局4名の総勢9名で、ウィスコンシン州の様々な場所で友好的な交流を行いました。

文化・芸術グループは今回初めてJapan Fest2017に参加しました。Japan Festはミルウォーキー在住の日本人の方々により毎年開催されています。今回は東北の被災地支援を目的としていて、初めに復興の現状が映像で紹介されました。使節団からは文化・芸術グループによる舞踊と、教育グループの高橋団長によるピアノ演奏を披露しました。その後、文化・芸術グループはムスリム、アメリカインディアン、モンテッソリー教育、キリスト教など特色のある学校を訪問することで、アメリカの移民文化を学ぶ機会となりました。教育グループは、ヘルスケア、ホスピスなどエンドオブライフケア、地域に密着したケアなどについて大学や施設を訪問し意見交換を行いました。

キッコーマン・フーズ社のウィスコンシン工場訪問では、2年前に姉妹提携25周年の記念植樹をしたJapanese White Silk Lilacの成長を確認しました。キッコーマン・フーズ社の行き届いたお手入れに感謝いたします。また、州庁舎訪問では、あいにくウォーカー知事は不在でしたが知事執務室で記念品を贈呈し、また知事からは思いがけなくお土産を頂きました。

今回の派遣では、ハードな点もあったのではないかと思います。団員の皆様のご協力のお陰でスムーズに日程をこなすことができましたと思います。少人数の派遣であったこともあり、全員が協力し助け合う和気あいあいの派遣でした。高橋在也団長を始め団員の皆様のお陰と感謝申し上げます。そして、団員を温かく受け入れて下さいましたホストファミリーの皆様、訪問先の学校や施設の関係者の皆様、通訳やエスコートをして頂きました方々、今回の日程調整や企画をして下さいましたウィスコンシン千葉委員会の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

(CWA 事務局長 青木靖子)



ウィスコンシン州庁舎



ウィスコンシン州庁舎 知事執務室にて



キッコーマン・フーズ社敷地内の
Japanese White Silk Lilac



キッコーマン・フーズ社訪問

文化・芸術グループ

文化・芸術グループは、木更津市のご推薦により歌舞伎舞踊の伎音戯座（わざおぎざ）の2名とCWA事務局2名の計4名でした。どこに行っても初めて見る日本舞踊に観客は魅了され、綺麗な着物が珍しいのか一緒に撮影を希望する人が多かったです。重い舞台衣装の運搬は大変でした。また白塗りのメイクや衣装の着替えには時間がかかるため、時にはホストファミリー宅で準備することもありました。状況に合わせての準備のお陰で無事に日程をこなすことができました。様々な学校や施設を訪問しアメリカの移民文化、多様性を学ぶ良い機会にもなりました。今回のホストファミリーは昨年度来葉したダンスアカデミーオブメキシコの皆様でした。茂原市のホストファミリーのおもてなしに感激し、今度はお返しを、ということでお引き受け下さったと伺っております。アメリカのみならずメキシコのライフスタイルをも垣間見ることができたホームステイでした。ウィスコンシン州の方々と団員の皆様が今回の交流で得られた繋がりが一層深まり、ウィスコンシン州と千葉県の交流のすそ野が広がっていくことを願っております。

（青木靖子、三橋早苗）



Japan Fest 2017 にて公演（京の四季）



Salam Middle School にて公演（三番叟）

<団員>

伎音戯祐子（渡邊祐子）
 伎音戯律与（齊藤みさこ）
 青木靖子、三橋早苗（千葉ウィスコンシン協会）

<行程>

10/ 8 Japan Fest 2017 に参加
 10/ 9 Salam Middle School にて公演
 10/11 Cooper Elementary School にて公演
 10/12 Notre Dame Middle School of
 Milwaukee にて公演
 10/13 Franklin High School にて公演



Milwaukee Muslim Women's Coalition 訪問



Japan Fest 2017 にて公演（国入り奴）



Cooper Elementary School にて公演



Cooper Elementary Schoolにて公演後、折り紙を指導



Notre Dame Middle School of Milwaukeeにて公演



Franklin High Schoolにて



Franklin High Schoolにて公演



文化・芸術グループ

わざおぎ りつよ
伎音戯 律与

この度の2017年千葉県友好使節団派遣事業は、私にとっての使命であり、それはまるで踊りを通して神様から最高のプレゼントをいただいたようなものでした。アメリカの人たちは大変に心が美しく、いかなる時も親切です。その一面に触れる機会を失ってしまうと、一生それに匹敵する機会を得ることはできないと言っても過言ではありません。

キリスト教やイスラム教の学校での公演と交流、Indian Community Schoolへの訪問を通して、信仰と言葉の大切さを学びました。日本語と異なる言語に共通の「言霊」があると感じ、とても興味深かったです。文化は人の心の拠り所であり、文化を失った生活はあり得ません。

そして、東アジアに留まっていたのでは知ることが出来なかったであろう、独特でエキゾチックな「外から見た日本の歌舞伎舞踊」を初めて体験し、文化交流への更なる情熱が湧いてきました。

ウイスコンシン千葉委員会、ホストファミリー、関わった全ての皆様が毎日与えてくれた親切、明るさ、笑顔、ユニーク、ダンス、愛。多様性に富んだ素晴らしい活動で溢れ、毎日私達を驚かせてくれました。私の未熟さも含め、初めてアメリカと出会い経験した様子について、皆様と共有する事ができたことを幸せに思います。喜びを胸に、2018年、木更津市にてお待ちしております。



ジャック・オウ・ランタン

▶教育グループ

教育グループは四つの大学の看護学部とムスリムコミュニティの健康センター、ホスピスを扱う民間の会社等を視察しました。

視察の前にオリエンテーションとしてアメリカにおける保健医療制度やミルウォーキー地区におけるその実態等について関係者からお話を伺うことができたため、それぞれの視察先で得られた情報等についてさらに深く考えることができました。

昨年度、ウィスコンシンからの使節団の一員として千葉県を訪問されたAnn VanEerden 助教、Carrol Bronson助教が勤務されるAlverno CollegeとCardinal Stritch Universityへの訪問は実に有意義な交流となりました。この度の訪問によって交流が双方向となり、更に研修を深めることができたことをたいへんうれしく思います。

訪問した大学では、シミュレーション施設等の見学をさせていただきました。それぞれの大学で工夫があり、驚かされました。急な申し出であるにもかかわらず、授業に参加させていただき、千葉大学での取組を基に意見交換をさせていただいたこともよい思い出になりました。

官民を問わず、住民の健康管理にかかわる医療機関が地域のコミュニティと連携して住民の健康管理をしている実態は、高齢社会の日本における今後の取組を考える上で大いに参考になると思われます。

(小川鉄次、薄井まどか)

<団員>

高橋在也(千葉大学大学院看護学研究科 特任講師)
渡邊美和(同 助教)
館 祥平(同 助教)
小川鉄次、薄井まどか(千葉ウィスコンシン協会)

<行程>

10/ 9 Muslim Community and Health Center of Wisconsin
VITAS Healthcare Hospice in Wisconsin
10/10 University of Wisconsin-Madison (UW Madison)
School of Nursing
10/11 Alverno College JoAnn McGrath School of Nursing
10/12 Cardinal Stritch University
10/13 Medical College of Wisconsin



視察前に高齢者の健康管理に詳しいMs. Stephanie Sue Stein (右から2番目) からレクチャーを受ける



Muslim Community and Health Center of Wisconsin



VITAS Healthcare Hospice in Wisconsin



UW Madison 看護実習室：精神看護の観点から質問する



同上：日本人スタッフとも交流

交流活動



Alverno College JoAnn McGrath School of Nursing



Alverno Collegeで学生と一緒に講義を受講



Cardinal Stritch University



同上：看護学部長のDr. Dries（左から2番目）、昨年度WCI使節団員を務めたDr. Bronson（左端）と



教育グループ

高橋 在也

(千葉県友好使節団団長)

2017年10月7日から15日までの9日間にわたり、米国ウィスコンシン州ミルウォーキー市を中心とした地域に、文化・芸術グループ2名、教育グループ3名、協会事務局4名の合計9名が訪問しました。教育グループとしては、千葉大学大学院看護学研究科に所属する渡邊美和助教、館祥平助教、高橋在也特任講師の3名が、関連する大学・ヘルスケア諸施設を訪問しました。

訪問先はUniversity of Wisconsin、Alverno College、Cardinal Stritch University、Medical College of Wisconsin、Muslim Community and Health Center、VITAS Healthcare Hospice Office等、複数の大学機関、コミュニティセンターであり、それぞれの大学の看護学部のカリキュラム、教育システムの違いについて意見交換を行うなど有意義な時間を過ごしました。

ウィスコンシン州と日本の共通点として、専門職連携教育、エンドオブライフケア、コミュニティヘルスに対して力を入れている点がありました。日本に比べてシミュレーション教育における設備等の環境が充実しており、また、模擬患者役を芸術学部生が演ずるなど医療系以外の学部との連携教育が行われていました。

日本との保健福祉制度の違いはありながらも医療職の人材不足、在宅における家族の負担、高齢者医療、地域医療での課題はウィスコンシン州でも日本と同様に見られました。今後も連携を深めていくことで、お互いの発展に寄与できることと思います。

今年度の使節団の文化・芸術グループは歌舞伎を中心とした伝統舞踊に創造性を取り入れた伎音戯座のお二人であり、教育グループはそれぞれ専門を異にする看護学研究に携わる三人です。まさに、アートとケアをミックスした交流が実現したと思います。ご協力・ご支援をいただいた皆様にお礼申し上げます。



Medical College of Wisconsinで千葉大学のIPE（専門職連携教育）への取組について説明

食文化 de 交流 2018! ローストターキーと房総祭りすし

1月21日(日)千葉市生涯学習センターで、ローストターキーと房総祭りすしをウィスコンシン州出身のALT(外国語指導助手)と一緒に作り、味わう交流会が開催され、9人のALTを始め総勢31名が参加しました。

今回の交流会は、事前にALTの方々の意向を踏まえてメニューを決めるなど、これまで以上にALTの自主性を尊重した催しとなりました。また、メニューのスイートポテトやマッシュポテトの材料であるサツマイモやジャガイモは運営委員自家製の地元産を使用し、千葉県の伝統料理「太巻き寿司」と相まって異文化交流に相応しい内容です。

今回は前述の料理のほか、コーンブレッド、パンプキンパイの6グループに分かれて料理を作りました。各グループでは初対面の参加者もいましたが、次第に打ち解けながらレシピに沿って調理を進めました。オープンなどから甘い香りが漂ってくると、それだけで調理の成功を確信しました。

太巻き寿司は、桃の花、椿の花、パンダの3種類を作りました。種類によりメンバーを入れ替えて作ったのですが、完成後の寿司はどれも切り口の絵柄が素晴らしく感心してしまいました。

また、メインディッシュのターキーは1週間前から解凍し、当日9時からオープンで焼き始めました。途中サラダオイルを数回塗るなどして待つこと3時間半、きつね色に焼けたターキーが出来上がりました。切り分けはALTが行い、すべての食事の準備が整いました。



太巻き寿司づくりのコツを教えます!



ターキーの切り分けに果敢に挑戦!



美味しい食事に話も弾みます

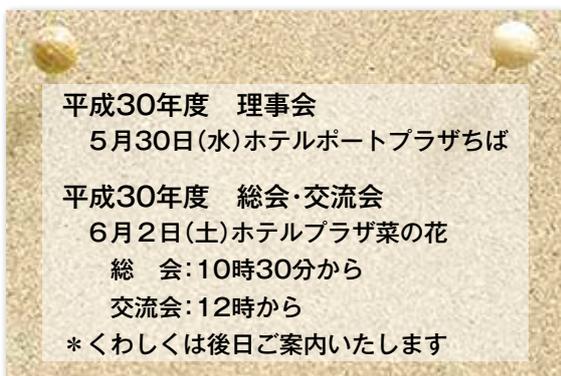


全員で記念撮影

美味しい料理に舌鼓を打ちながらの歓談の後、参加者全員が自己紹介をしました。

ALTは出身地、所属の学校などを紹介し、日本人の中には英語でスピーチした方や横笛を吹いた方もいました。和やかな雰囲気にもまれた楽しい時間はあっという間に過ぎ、名残惜しい中再会を約して散会しました。

CWA からお知らせ



CWAに入会してみませんか

千葉ウィスコンシン協会では、毎年ウィスコンシン州との姉妹交流事業を実施しているほか、イベントへの出展、ウィスコンシン州出身のALTを交えた会員等交流事業などを行っています。ご興味のある方は、下記にお問い合わせください。

電話 043-223-2394(千葉県総合企画部国際課内)

メール kokusaig2@mz.pref.chiba.lg.jp

【編集後記】

今回のメインは2017千葉県友好使節団による活動報告です。団員からはウィスコンシン州での様々な交流を通じて得た貴重な体験を次の活動へ活かしていきたいという熱い思いが語られました。CWAでは今後も多くの千葉県民がこのよう素晴らしい体験をしていただけるよう努力してまいります。

発行所: 千葉ウィスコンシン協会

発行人: 森山茂男 編集: 広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビュロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)